

TOHATSU

PARTNER

2008年4月15日発行／春号

VOL.75



Photo:ジャパンインターナショナルボートショー2008 イン 横浜

C O N T E N T S

- 納入! ツインポンプのすごいヤツ…………… P.2
- 宇都宮市へ熱画像カメラ納入…………… P.2
- 福島県猪苗代町へVF53AS納入…………… P.3
- 環境重視のVF53AS好調…………… P.3
- 静岡県川根本町へ自動中継ポンプ納入…………… P.3
- ジャパンインターナショナルボートショー2008 イン 横浜…………… P.4～5
- 関西ボートショー2008…………… P.4～5
- 第18回新潟ボートショー…………… P.4～5
- 東京消防庁へVF63ASポンプ45台納入…………… P.4
- ボートショーに可搬消防ポンプ出展…………… P.5
- 2007東北ボートフェア…………… P.6
- ベネズエラ・メキシコの船外機市場を訪ねて…………… P.6
- 日本消防協会による多機能型車両の交付式…………… P.7
- 名古屋市相原消防団が駒ヶ根工場を見学…………… P.7
- 中国研修生が駒ヶ根工場で研修…………… P.7
- 新製品紹介 (船外機MFS9.9C/15C/20C)…………… 裏表紙

トーハツ防災機器用品

ツインポンプの すごいヤツ!



栃木県消防整備(株)では、平成19年度のトーハツ総合カタログでもおなじみの栃木県那珂川町(旧小川町)へB-2級可搬消防ポンプを2台搭載したオールシャッター式積載車を納入しました。

キャビン後部に背中合わせに配置されたポンプの1台は、操法に最強スペックを誇る「VC72PRO」。もう1台は固定配管によって接続された両面遠隔操作盤付4ストロークポンプ「VF63AS」です。操法に熱心で、且つ鮎釣りのメッカとしてその清流が有名な同町では、この2台はまさに最強の布陣かと思われます。この近年まれに見る豪華絢爛な仕様は、CD-1のポンプ車更新と比較の上決定したものです。

4サイクルポンプの上位機種である「VF63AS」は、同町で必要とされる環境対応性と放水性能を満たしつつ、いざとなれば本体を取り外しても使用できるということで、併用される「VC72PRO」と共に消火戦術の幅を広げ、様々な状況でポンプ車と同等以上の活躍が期待できます。

納入当日は地元メディアも取材に訪れるなど、大変満足なご検収を頂くことができました。

末筆ながらトーハツ可搬ポンプをご採用頂きました那珂川町の皆様には、誌面を借りて厚くお礼申し上げます。

(寄稿：栃木県消防整備(株)／村上)



宇都宮市消防本部へ ヘルメット装着型「熱画像カメラ」納入

暗闇、濃煙、熱気内等々、視認し難い条件下で、物体、人物などが容易に確認できるというトーハツの「熱画像カメラ」が、この程宇都宮市消防本部から救助工作車装備品として採用され、去る3月24日、同市消防本部へ納入されました。

軽量・コンパクト設計。電源スイッチ操作だけで使用できる簡単操作の優れたもの



で、暗視カメラと違い光源が不要の赤外線カメラです。しかもヘルメット装着形のハンズフリーですから、危険を伴う救助現場などで両手作業が可能など、高い安全性を評価して頂きました。

同消防本部では納入された「熱画像カメラ」をさっそく暗室に持ち込んで性能テスト。真っ暗闇の中でカメラが人の体温を感知し画像が現れると、見守っていた職員一同、さすがにびっくりした様子でした。

ご採用頂いた宇都宮市消防本部様には厚くお礼申し上げます。

(寄稿：栃木県消防整備(株)／村田)





日本丸メモリアルパーク・エリアを加えた“マリン冒険王国”

「ジャパン インターナショナル ボートショー2008 イン 横浜」開国!

昨年、初めての横浜開催で注目された春のボートショーも、早くも2年目。今年も去る3月6日から9日までの4日間、「ジャパン インターナショナル ボートショー2008 イン横浜」がパシフィコ横浜の展示ホールをメインに開幕しました。今回から新たに日本丸メモリアルパークなどにもイベント・エリアを拡大。「マリン冒険王国」のテーマの下に一般マリン用品展示から、ミニボート・ミニクルーズ試乗まで、マリンレジャーの楽しさを幅広いユーザーにアピール。因みに4日間の入場者は、4万6千人余を数えました。

パシフィコ横浜メイン会場のトーハツ・ブースでは、'08NEWバージョンTF250SCをはじめフィッシングの定番TF235・SC、根強い人気のマーベラス21α、和船のTFW17R等々がメインステージに登場。

一方エンジン部門は、低燃費・高加速で好評のTLDI直噴シリー



ズ。更に4サイクルでは免許不要の小型ボート対応型船外機「MF S2」。昨年、話題を独り占めにした電子制御燃料噴射装置搭載のMFS30/25。そして今回のハイライトは、コンパクト・ハイパワー・ハイクリーンと3拍子揃った4ストロークのNEWモデル「MF S9.9C/15C/20C」の新登場でしょう。意に違わず常に人の輪ができていました。

また、ボートや船外機が居並ぶステージで、今年も赤い顔して一人愛嬌をふりまいていたのが可搬ポンプ「VF63AS」。マリン商品とともども今年の商戦を圧倒してもらいたいものです。

(マリン営業課)

2008 Boat

各地で大好評!



東京物産(株)が東京消防庁へ可搬消防ポンプ「VF63AS」45台一括納入

久しぶりに暖かな日和に恵まれた去る2月13日、トーハツ(株)の旧東京工場を臨時の完成検査場として、東京消防庁向け可搬ポンプ納入に伴う納入完成検査が行われました。今回の同庁による消防団向けは、「VF63AS 台車付」45台、消防隊向け「VC72BS 台車付」4台、林野向け「V20E」3台で、計52台。

検査員は同庁の各担当所管から数名ずつ派遣され、落札業者・東京物産(株)の陣頭指揮の下、各検査内容別に数班に分かれ、仕様書との整合性や数量、更に試運転などが行われました。この度は数量事態も多く、台車の組立て、ポンプの整備などに追われ、ようやく検査当日を迎えることができました。

おかげ様でトーハツ(株)本社駐車場で行われたVF63ASの送水運転では、エンジン音の静粛さに検査官もびっくりしたほどで、騒音試験も余裕を持ってクリアしました。都内では防災訓練時の消防ポンプの騒音が問題化している折から、今回の同モデルの納入は、かなり有効な打開策になると思われます。

最後になりましたが、この度トーハツ可搬消防ポンプをご採用頂きました東京消防庁関係者、並びに納入にご尽力頂いた東京物産(株)様には厚くお礼申し上げます。

(防災営業部/志津川)



猛吹雪にも客足途絶えず 第18回新潟ボートショー



積雪が一番多いこの時期、去る2月23日・24日の両日、第18回新潟ボートショーが、今年も市内の新潟産業振興センターで開催されました。雪国とはいえ、一時は開催が危ぶまれた程の猛吹雪。それでも古いおなじみさんのユーザーは普段と変わらぬ風情で会場を訪れ、各社の一押しモデルを真剣な眼差しで品定めて回るなど、さすが豪雪地帯に生きる人々です。

よる「トーク&サイン会」、「知って得する海洋講座」、そしてユーザー参加の「ビンゴ大会」などが行われて、会場は大いに盛り上がっていました。

トーハツ・コーナーには、寒さにもめげず地元ボート釣りファンなど客足が途絶えることなく、係員も大ハッスル。多数のご成約も頂いて手ごたえ十分のボートショーでした。

応援頂いた地元販売店のマリン商事の皆さんには、厚くお礼申し上げます。

(マリン課/榎本)



会場内では、いくつかのイベントも用意され、初日は北陸・信越地区で始めて「海の駅」として登録された3箇所のマリーナへの登録証の交付式や、テレビの釣り番組でおなじみの永浜いりあさんに

トーハツでは、TLDI直噴のMD115を搭載したTF-250SCを主力に展示。一方船外機では、2馬力から30馬力までをオールラインアップ。ハイパワー、コンパクト、クリーンをコンセプトに、この春新発売した4ストローク船外機のMFS20CがTF-250SCと共に評判を呼んでいました。

またスモール・ボートコーナーでは、各社船外機を搭載した艇が並び中、ほぼトーハツが独占。その存在感をアピールするなど、需要期を控えて活況あるボートショーでした。

ご協力頂いた販売店の皆様には、厚くお礼申し上げます。

(マリン関西/福松)

桜花ならぬ 「関西国際ボートショー2008」 一足先に満開!



桜の便りもちらほら。穏かな春の日差しの中、去る3月21日から3日間、関西国際ボートショーが華やかに催されました。会場は去年同様、屋内・屋外の2展示場に分散して行われましたが、今回からの屋内のメイン会場を大阪南港ATCホールに変更しての開催です。各々の会場ではマリン関連のセミナーやクイズ大会、更に子供たちに人気のスタンプラリーなども用意され、土・日は家族連れユーザーで終日賑わいました。

ボートショーに可搬消防ポンプが出展されて話題騒然!



話題の主はトーハツ可搬消防ポンプ「VF63AS」。その可搬ポンプが、なぜこんな場違いなボートショーに?とお思いでしょう。実はこれには訳があるのです。船外機のパイオニア・トーハツが、文字通り技術の粋を結集して開発したTLDI直接燃料噴射装置式4ストローク船外機のエンジン技術を、そのままポンプに応用。地球環境に徹底対応した限りなくエコロジカルな可搬消防ポンプなのです。

去年のボートショーで、トーハツ・ブースに初めて展示され話題になりましたが、今年も「4ストロークで白煙が出ないのはいいねえ」とか、「EFI(電子燃料噴射装置)方式ですか!画期的ですねえ」など、真っ赤な顔して照れている可搬ポンプの前で、様々なお客様から様々なお声をかけて頂きました。トーハツでは、防災に役立つ可搬ポンプをもっと身近なものとして、一般の方々にも見て触れて頂きたい。いつもそう考えているのです。

(業務課/井手)





「ポートフェア」と「モーターショー」が初のドッキング

去年12月15日から16日の2日間、仙台市内の夢メッセ宮城で行われた東北マリン事業協

会主催による「2007東北ポートフェア」が、「第7回仙台モーターショー」とドッキング。同会場で同時開催されるという業界初の試みが発現、話題をさらいました。

それぞれ業界の異なる両者の仲人役を買って出たのは地元・東北運輸局。もともと「ポート」と「車」のユーザー層は混然化しており、同時開催による集客力にも大きなメリットが生まれます。その上相乗効果も期待できるとあって、両者は特別協賛事業としてめでたくドッキング。同

仙台の夢メッセ宮城で

時開催と相成った次第。

さて、トーハツ・ヤマハなど多数の大手メーカーが参加して行われたこの度の「2007東北ポートフェア」。師走の12月開催は、マリンレジャーとしての季節感から見ればシーズン・オフに当たるとは言うものの2日間の来場者は5万人を超える超大盛況振り。TLDI直噴115馬力エンジン搭載のTF-235、SC艇や、船外機MFS25B、同MFS2Aなど人気モデルを展示したトーハツ・ブースも、文字通りポートファンならぬカーファンまで訪れて、終日活況を呈していました。

(マリン東北／木村)



「2007東北ポートフェア」

世界の船外機市場

パネズエラ・メキシコの南米市場を訪ねて



日本を含めた先進国市場では、過去10年間で船外機の4ストローク化が大きく進みました。当社に於いても4ストローク・TLDIモデルのラインナップ拡充を行っていますが、一方で、途上国市場では使用環境の厳しさから依然2ストローク船外機が中心の市場であり、現存の4ストロークモデルでは過酷な業務市場向けには適合していないのが実情です。現在、当社の長年の信頼と実績を兼ね備えた2ストローク船外機を、中南米市場に数年前より本格投入し、年々販売シェアを伸ばしています。



〔ベネズエラ〕

世界有数の石油産出国であり、ガソリン価格は約5円/L。北はカリブ海に面し、南はアマゾン川の源流域。船外機の需要は中南米の中で第2位。使用用途は漁業、運搬船やカリブ海に点在する離島への渡船。馬力は40



ルとの評価が高く、ベネズエラに於いてトーハツブランドの知名度が高まっています。今後は90hp、115hpと販売ラインナップを広げ、拡販し、商品を熟成させていく一方で、教育やサポート体制を強化してブランド価値を高めていきたいと考えています。

〔メキシコ〕

昨年よりメキシコ市場への本格

参入の準備を進め、メキシコ全土にデモモデル船外機を投入し、満を持して念願のメキシコ市場への参入を果たしました。デモ船外機の評価はベネズエラ市場で実証済み通りの高いもので、Y社独占的市場に一石を投ずる存在と期待されています。

(海外課／牧)



馬力から115馬力のマニュアルスタート、ティラーハンドルのモデルが主流です。

トーハツ船外機は、Y社船外機に比べ燃費が良くパワフ



日本消防協会より寄贈の消防団多機能型車両に「VF63AS」が採用され 交付式

昨年12月から本年3月にかけ、(財)日本消防協会(片山虎之助会長)より寄贈される各地域の消防団向け多機能型車両が交付され、24の都道府県でその交付式が行われました。この車両は日本宝くじ協会の助成金によるもので、2年間で全国47都道府県に交付が予定されています。

近年の災害は、火災、地震、風水害など、自然災害を含め多種多様化。各地域消防団の果たす役割は大変重要で、これらに対応するため考案されたのが多目的型車両です。この車両に搭載される可搬ポンプとして採用されたのが「VF63AS」。このモデルは環境に優しい4ストロークエンジンを搭載。超低騒音で排気ガスもクリーン。地球温暖化など環境対策に最適です。また納入説明会での試運転時などで、エンジン音がソフトで軽自動車のような、と評判

になったり、EFIだから始動性が抜群だね、との声もよく耳にしますが、とりわけB2級で高パワフル。音が静かだからと言

ってスロットルの上げすぎにはご注意ください。くれぐれも適正圧力のご使用をお薦めいたします。

さて、同協会による交付式が各地で行われる中、新潟県佐渡市でも去る2月6日、交付式が行われ、同地域消防団に配備されました。当地でも多くの消防団員の視線はVF63ASへ。そして「外觀が船外機に似ている」との声が上がりましたが、それもそのはず、このポンプは船外機のトーハツが技術の粋を凝らして開発。電子燃料噴射装置採用の船外機エンジン技術を、そのまま可搬ポンプに応用。アメリカのEPA排気ガス規制もクリアした優れたものなのです。

各地域の消防団員の皆様には、この度交付された多機能型車両と共にトーハツ「VF63AS」を、これからも可愛がって頂きたくお願い申し上げます。また最後になりましたが、ご採用頂いた(財)日本消防協会様には厚くお礼申し上げます。

(防災営業部)

名古屋市の相原消防団 トーハツ駒ヶ根工場を見学



名古屋市にある相原消防団総勢15名が、去る3月8日、見学のためトーハツ駒ヶ根工場を訪れました。ご一行は大歓迎を受けた後、係員の説明でトーハツの歴史に触れるなど、さっそく工場見学に移りました。

この日の見学会は可搬ポンプの運転場を中心に行われましたが、運良く今話題の4ストロークポンプ「VF53AS」のテスト運転に遭遇。案内役の担当課長へ、団員から様々な質問が飛び交いました。とりわけ、エンジン音の静粛さ、白煙の無さ、リコイ

ルスタータ始動時の軽快さ等々、同ポンプへの関心の高さをうかがわせました。

この後、軽積載車デッキバンでポンプリフター-TWLの上げ下ろしテストなどを見学して、この日の日程を終了。終了後は各団員からご感想やらご意見やら、様々な有意義な“声”をお伺いでき、また防災意識の高さに触れることもできました。相原消防団様の今後のご活躍を祈念申し上げます。お疲れ様でした。

(防災中部/梶原)

トーハツ本社・駒ヶ根工場での研修

中国研修生

財団法人日本消防協会主催による中国消防研修生の研修が、2月12日から15日まで、トーハツ東京本社及び駒ヶ根工場で行われました。中国各地より選抜された5名の将来幹部となる研修生の皆さんは、昨年5月に来日し消防大学校や日本各地の消防本部で研修を重ねられてきましたが、その成果があって大変流暢な日本語で研修に臨まれていました。

トーハツでの研修では、可搬消防ポンプの技術的な講義や、製造現場での品質管理、また日本でのポンプ検定制度について行いました。人命・財産を火災から守るための消防ポンプの品質を、いかに製造段階で高めるかという点について、出荷単位で行われる試験制度が採用されていることに、大変興味深く聞き入っていました。

普段は、中国で消防機材を直接操作するような機会がない皆さんですが、トーハツの研修ではポンプに実際に触れ、

エンジンやポンプの構造・仕組みを直に身につけてもらうプログラムを可能な限り

設けました。トーハツの可搬ポンプが、消防や消防団の高い技術的な要望に合致して作られていることを、この研修の中でご理解いただけたものと思います。

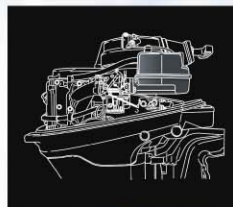
帰国後日本で学ばれたことを存分に活かし、中国の消防の発展・向上に役立てていただければと祈念いたします。

(防災営業部海外/田澤)



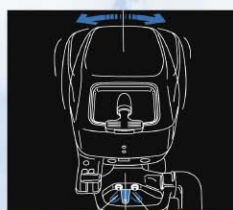
FOUR STROKE MFS 9.9C/15C/20C

船外機のパイオニア、トーハツが「地球に優しい4ストローク船外機」MFS9.9C/15C/20Cを新発売します。
高出力・高トルク・低燃費を実現し、振動の低減化と耐久性の向上とアイドル時の騒音を低減しました。
「ハイパワー」、「コンパクト」&「クリーン」次世代マシンの登場です。



吸気系統

安定したエンジン始動を実現したファースト・アイドルシステム。エンジン運転時の耳障りな吸気を抑える大容量のエアサイレンサーを備えた吸気系統を採用。



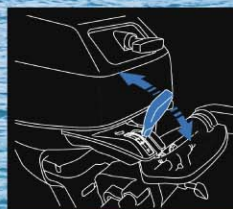
ワンタッチ摺動調整

手元のレバー操作で、簡単に摺動力（ハンドル操作力）の調整が可能。高速での航走安定性とトローリングでの取り回しの良さを両立。



トリムタブ&ワイド スプラッシュプレート

船外機の腐蝕を抑える働きのある大型トリムタブは、ワイドなスプラッシュプレートとあいまって、プレーニング姿勢の安定性を向上させています。



フロントシフト

より自然な姿勢で、シフトチェンジがスムーズに行うことが出来るフロントシフト機構を装備。

*プロペラの塗装色はブラックとなります。



発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢3-5-4

TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090

トーハツ株式会社

トーハツパートナー編集局

編集兼発行責任者 若林 弘/小山 将